

水田の冬期湛水による湧水文化の保全

—地下水かん養機能—

えちぜん

越前おおの湧水文化再生計画



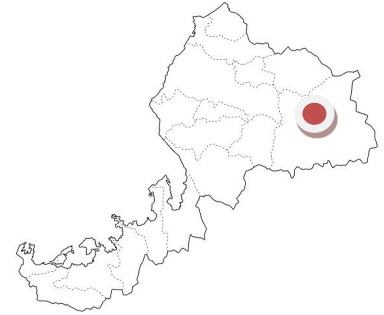
おしょうず
湧水地「御清水」
(名水百選に選ばれている)

古くから城下町として栄えてきた大野盆地は湧水、地下水が豊富。地下水は、今日でも、飲料用、農業用など様々な用途に利用されている。

地域には湧水地が点在し、水と共生する生活様式や特有の湧水文化が育まれてきた。

しかし、高度経済成長期以降、地下水位の低下や湧水の減少、枯渇が進み、貴重な水資源や湧水文化の維持が困難な状況になりつつある。

そのため、大野市では、水田湛水による地下水かん養などを含む湧水文化の再生計画を策定し、様々な取組を実施している。



おおの
福井県大野市



水田の冬期湛水

【地下水のかん養】

地域の水田は、かんがい用水が地下に浸透することにより、地下水の貴重なかん養地になっている。

しかし、市街化の進行により、水田の面積は減少し地下水のかん養能力が低下した。

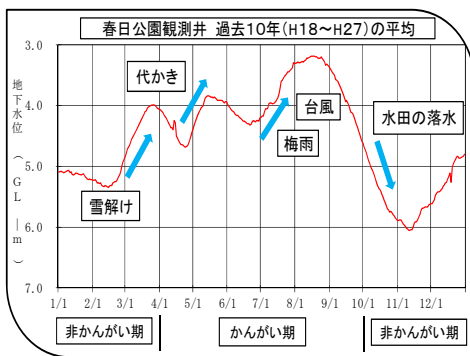
そのため、渇水期や冬期において水田湛水（水田に水をはる）を実施。昭和 53 年から現在に至るまで、非かんがい期に約5～30ha/年の水田湛水を実施している。

また、農業用水路の改修時には水路底部の透水を推進している。

【伝統文化の継承】

住民参加により、地域の湧水文化の基礎となる湧水地の保全活動や、天然記念物「淡水型（陸封型）イトヨ」生息地の本願清水の保全、節水や地下水保全の学習活動を実施している。

また、水にまつわる歴史や言い伝え、伝統行事の継承のための取組を実施している。



地下水位はかんがい期に上昇



湧水地の保全活動



イトヨの生息地「本願清水」



地下水保全に関する学習会

《大野市（地下水）のホームページ》

<https://www.city.ono.fukui.jp/kurashi/kankyo-sumai/mizujunkan/chikasui/index.html>